

仕様書

新エネルギー部

1. 件名：再生可能エネルギー熱利用にかかるコスト低減技術開発／
海外での再生可能エネルギー熱の面的利用に関する詳細事例調査

2. 背景・目的

我が国の最終エネルギー消費量に占める家庭部門と業務部門の割合は3割を超えており、このうち熱需要が約半分を占めていることから、温室効果ガス排出削減のためには、熱利用の低炭素化・脱炭素化を進めることが重要です。

第6次エネルギー基本計画では、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、再生可能エネルギー熱（以下「再エネ熱」という。）の効果的な活用が重要であり、複数の需要家群で熱を面的に融通する取組により、再エネ熱の導入拡大を目指すと言われています。

このような背景から、本調査では、海外での再エネ熱の面的利用に関する詳細事例について情報収集、分析を行い、再エネ熱の普及拡大に向けた新たな活用方法を検討します。

3. 実施内容

以下について、海外での再エネ熱の面的利用に関する詳細事例の情報収集・分析を行う。

- ・面的な熱供給事業が先行する欧州や中国を中心として、海外での様々な規模での地域熱供給・面的熱利用事例について調査を行い、それぞれの事例で利用されている熱源の種類および設備の仕様、熱配給の仕様、事業者の概要、ビジネスモデル（出資者／資金調達方法や収益モデル等）、事業履歴・計画等の詳細情報を取りまとめる。
- ・事例の選定にあたっては、実施者からの一次提案に基づき、熱源での再エネ熱の割合、地域性、事業内容のバリエーション等を加味し、NEDOと協議のうえ決定することとする。
- ・調査を通じて得られた情報を俯瞰的に整理し、再エネ熱を面的に利用することでのメリット／デメリット、経済性を定量的に分析する。

上記の実施内容について、月1回程度、NEDOに進捗報告を行う。

4. 調査期間

NEDOの指示する日から2023年3月31日

5. 予算額

2,000万円以内

6. 報告書

以下の期日までに最終成果報告書を提出すること。

提出期限：2023年3月31日

提出方法：NEDOプロジェクトマネジメントシステムによる提出

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出のこと

<http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

7. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、NEDO技術委員会又は成果報告会において報告を依頼することがある。

以上